

平成 18 年(2006 年)12 月 7 日

報 道 各 社 様

市民まちづくり局市民生活部消費者センター

TEL : 728-2111 FAX : 728-2112

年末年始生活物資需給・価格見通しについて

札幌市では、年末年始物価対策の一環として、年末年始時期に需要が増大する生鮮食料品や石油製品などの生活物資の需給動向及び価格見通しについて、関係業界団体の協力を得て、下記のとおりまとめましたので、お知らせいたします。

記

1 協力を得た業界団体

- (1) 札幌市中央卸売市場青果部運営協議会
- (2) 札幌市中央卸売市場水産協議会
- (3) ホクレン農業協同組合連合会
- (4) 札幌食肉卸業協会
- (5) 北海道製麺協同組合
- (6) 札幌地方石油業協同組合
- (7) 北海道エルピーガス協会石狩支部

2 調査時期

平成 18 年 11 月下旬

3 概要

(1) 青果物類

入荷量は、全般的に生育期の天候に恵まれたことと、秋になっても暖かい日が続き一部の野菜で生育が前進傾向にあったことから、前年並みが見込めるものが多い。但し、作付け面積が減少した里いも・みつば・長ねぎ(道内産)、原油高騰の影響により生しいたけ、天候の影響により作柄が思わしくなかったみかん・さつまいもは、前年に比べ減少が予想される。

価格は、上記入荷量の減少が見込まれる 6 品目は前年と比べ「やや高値」・「高値」が予想されるが、全般的に前年に比べ安値傾向が見込まれる。前年「安値」であっただいこん・きゃべつ・はくさいは今年度も「安値」、前年「高値」であったきゅうり・レタスは「安値」が見込まれる。

(2) 水産物類

全般的に前年より高値傾向が見込まれる。水揚量の減少により、たこ・新巻鮭の副産物いくらは「高値」、新巻さけ・赤えび・はまち・ほたては「やや高値」、また、原料の高騰によりスモークサーモンは「高値」、飯寿司は「やや高値」、ロシアからの入荷量が不安定なたらばがには「やや高値」が見込まれる。漁獲制限と原油高騰によりまぐろは「高値」が見込まれる。

(3) 畜産物類

供給量が例年並みと予想されることから国産牛肉・国産豚肉・国産鶏肉、輸入豚肉は「前年並」の価格が見込まれる。輸入牛肉は一部の部位で値上げが予想されることから、輸入鶏肉は11月、ロースハムは7・8月に各メーカーが価格を値上げしていることから、鶏卵は需給が堅調であることから前年より「やや高値」が見込まれる。

(4) その他

作柄が良く供給量が安定していることから、もち米・黒豆・そば粉は前年より「やや安値」が見込まれる。包装もちは「前年並」、生そばは「やや高値」が見込まれる。

(5) 石油製品

原油価格は秋以降下落しているが、前年同時期と比較するとやや高値で推移している。小売価格は灯油・ガソリンとも「やや高値」で、プロパンガスは値上げが小幅なことから「前年並」が見込まれる。いずれも在庫量は十分にあり、供給量も確保されていることから、年末年始にかけては現状の価格で推移すると見込まれる。

4 品目毎の詳細

別紙のとおり

なお、当センターでは、12月18日(月)～20日(水)に、市内のスーパー・小売店において(社)札幌消費者協会「さっぽろくらしのモニター」が、店頭調査で30品目を対象に「年末年始主要食料品小売価格調査」を実施いたします。調査結果については12月28日(水)に公表を予定しています。

平成18年度 年末年始生活物資需給・価格見通し

札幌市市民まちづくり局市民生活部消費者センター

品目	価格見通し	需給動向
みかん	高値	各産地とも7月の長雨等により着果数量が少なく玉伸びも悪いため入荷量は大幅に減少しており、安値推移の前年より高値が見込まれる。
生しいたけ	やや高値	原油高騰の影響から入荷量は前年に比べ減少が予想されることから、価格は前年よりやや高値が見込まれる。
にんじん	安値	全国的に好天に恵まれ、生育が前進傾向にあり、作柄も良好のため価格は前年より安値が見込まれる。
ごぼう	前年並	生育期の天候に恵まれ、生育は順調で入荷量、価格とも前年並が見込まれる。
れんこん	前年並	春先の低温、日照不足で生育に遅れが見られたが、その後天候が回復するも、平年よりやや玉まわりが小さい。価格は前年並が見込まれる。
里いも	やや高値	作付面積減少から、入荷量は前年に比べ減少が予想されるため、価格は前年よりやや高値が見込まれる。
みつば	やや高値	作付面積減少から、入荷量は前年に比べ減少が予想されるため、価格は前年よりやや高値が見込まれる。
だいこん	安値	生育期の天候に恵まれ生育は順調で、入荷量が前年に比べやや増加することから、価格は前年より安値が見込まれる。
たけのこ	前年並	中国産の孟宗筍は生育期の天候に恵まれたことから生育が順調で、数量・価格とも前年並が見込まれる。
きゃべつ	安値	各産地とも生育期の天候に恵まれ生育は順調で、入荷量が前年に比べやや増加することから、価格は前年より安値が見込まれる。
はくさい	安値	生育期の天候に恵まれ生育は順調で、入荷量は前年に比べ増加することから、価格は前年より安値が見込まれる。
ほうれん草	前年並	生育期の天候に恵まれ生育が順調で、価格は前年並みが見込まれる。
ばれいしょ	やや安値	道内産の空洞化は殆ど見られないが、全体的に小玉傾向。価格はLサイズ以上は前年より高値だが、LMサイズ以下はやや安値が見込まれる。
たまねぎ	安値	生育期の天候不順により一部作柄にばらつきが見られる。入荷量は前年に比べやや減少するが、価格は前年より安値が見込まれる。

青 果 物 類	長ねぎ	やや高値	道内産軟白ねぎは作付面積減少により入荷量は前年に比べ減少、府県産は生育順調で入荷量は前年並みが見込まれるが、価格は各産地とも前年に比べやや高値が見込まれる。
	きゅうり	安値	天候に恵まれ生育は概ね順調だが、今後、原油高騰による入荷量減少も考えられるが、価格は前年に比べ安値が見込まれる。
	レタス	安値	生育期の天候に恵まれ生育は順調で前進出荷傾向により、価格は前年より安値が見込まれる。
	さつまいも	やや高値	生育期の天候不順により作柄はあまり良くなく、入荷量は前年に比べ減少傾向が予想される。産地相場が高値傾向のため、価格はやや高値が見込まれる。
水 産 物 類	新巻さけ	やや高値	水揚量が前年の約 1 割減で、漁獲期のオホーツク・道東地区の低気圧による被害もあり、浜値が高値で推移していることから前年よりやや高値が見込まれる。
	味付数の子	前年並	原料の輸入が順調で入荷が安定していることから、前年並の価格が見込まれる。
	いくら	高値	秋鮭の価格が高値で推移しているため、価格は前年より高値が見込まれる。
	飯寿司	やや高値	原料のはたはたが高値により、価格は前年よりやや高値が見込まれる。
	まぐろ	高値	漁獲制限の大幅強化と原油高による燃料費の高騰と減船の影響で、価格は高値が見込まれる。
	いか	前年並	水揚量が前年同様に少なく、価格は高値での推移が見込まれる。
	赤えび	やや高値	ロシア船の減船により、前年に比べ水揚量が2～3割減少していることから、価格は前年よりやや高値が見込まれる。
	はまち	やや高値	夏場よりの出荷量減少と、養殖用飼料の高騰により価格は前年よりやや高値が見込まれる。
	たこ	高値	水揚量が減少していることから、前年に引き続き価格は高値が見込まれる。
	ほたて	やや高値	オホーツク・道東地区の低気圧による被害の影響で水揚量が減少し、価格はやや高値が見込まれる。
	たらばがに	やや高値	ロシアからの入荷が不安定のため、価格は前年よりやや高値が見込まれる。
こんぶ	前年並	水揚量は順調で、価格は前年並が見込まれる。	

水産物類	スモークサーモン	高値	原料の高騰により、価格は高値が見込まれる。
	板かまぼこ	前年並	すり身原料が前年並みの価格で推移していることから、価格は前年並みが見込まれる。
畜産物類	国産牛肉	前年並	購買客層が限られており、前年並の価格が予想される。ただし、年末年始はギフト用としてやや高値が見込まれる。
	輸入牛肉	やや高値	一部、ヒレ肉ラウンド(モモ)等の部位で値上げが予想されることから、価格は前年よりやや高値が見込まれる。
	国産豚肉	前年並	例年並みの出荷頭数が予想されるが、需要の伸びが頭打ちのため、価格は前年並が見込まれる。
	輸入豚肉	前年並	供給量も十分にあり、前年並の価格が見込まれる。
	国産鶏肉	前年並	供給量は例年並が予想されるが、需要の伸びが頭打ちのため、価格は前年並が見込まれる。
	輸入鶏肉	やや高値	11月に、各メーカーとも5%程度の値上げをしている。小売への影響はないが、価格はやや高値が見込まれる。
	鶏卵	やや高値	需給が堅調に推移していることから、前年よりやや高値での推移が見込まれる。
ローズハム	やや高値	原材料と原油高による包装材等の値上がりから、各メーカーとも7・8月に値上げをしており、その分やや高値傾向が見込まれる。	
その他	もち米	やや安値	道内産の作柄が良く供給量が安定していることから、価格は前年よりやや安値が見込まれる。
	包装もち	前年並	原料のもち米は、供給量が確保され価格は前年よりやや安値だが、原油高による包装資材の値上がりから、前年並みの価格が見込まれる。
	黒豆	やや安値	各産地ともに作柄が良く、供給量も安定していることから、価格は前年よりやや安値が見込まれる。
	生そば	やや高値	輸入そば粉は北米・カナダ産が原油高により、また中国産は人民元切り上げの影響によりいずれもやや値上がり傾向で、道内産の良質そば粉も値上がり傾向にあることから、価格は前年よりやや高値が見込まれる。
	そば粉	やや安値	輸入そば粉の供給が安定しており、加えて国産(道産)の供給量も豊富で安定していることから、価格はやや安値が見込まれる
石油製品	灯油		原油価格が秋以降下落しているが、前年同時期と比較しやや高値で推移している。小売価格においても同傾向にある。在庫量は十分にあり、供給にも不安がなく現状の価格で推移すると見込まれる。

石油製品	ガソリン	灯油と同様、原油価格高騰により小売価格がガソリンは前年並、軽油はやや高値となっている。需要も例年並が見込まれ、在庫量も十分にあり供給にも不安がないことから、価格が上昇する要素がなく、現状の価格で推移すると見込まれる。
	軽油	
	プロパンガス	原料の輸入価格がかつてなく高騰しており、小売価格が値上がりしている状況であるが、小幅であり前年並で推移すると見込まれる。 なお、供給量は確保されており供給不足になる懸念はない。

価格見通しの用語基準

前年並 = 前年同期比 $\pm 5\%$ 未満

やや安値・やや高値 = 前年同期比 $\pm 5 \sim 15\%$ 未満

安値・高値 = 前年同期比 $\pm 15\%$ 以上